

ユーシン

# 景況レポート

Number.95  
(2018.1~3月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業228企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

## 製造業・建設業が3期連続で改善

### 1月~3月期の概況

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△2.2と、2017年10~12月期(前期)の調査より2.2ポイントマイナスとなり、景況感はわずかに低下しました。

業種別では、卸売業で前期比11.6ポイント、小売業で同5.5ポイント、サービス業で同13.8ポイント低下しましたが、製造業で前期比2.6ポイント、建設業で同5.7ポイント、不動産業で同6.1ポイントそれぞれ改善となりました。

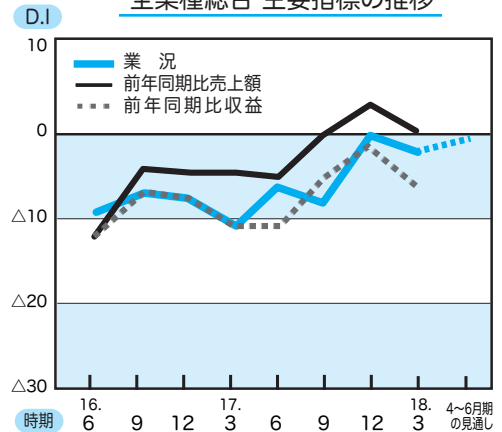
項目別では、売上判断D.Iが△1.3と前期比10.7ポイント、収益判断D.Iは△5.3と同8.4ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.4、前期比2.7ポイント、同収益判断D.Iは△6.6、同4.8ポイントともに低下しました。

雇用面では、人手過不足D.Iが△21.5と前期比4.0ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは3.9と同2.4ポイント低下しました。

借入金の動きや借入難易度では、「借入した」が前期比3.5ポイント減少となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が39.5%、「売上の停滞・減少」が30.3%、「人手不足」が25.0%で上位となり、前期とほぼ同様の課題が挙げられました。

全業種総合 主要指標の推移



### 4月~6月期の見通し

#### 業況の見通し判断D.Iは△0.4、実績比1.8ポイント改善の見込

来期、全体では改善を見込んでおりますが、製造業・サービス業・建設業では低下を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iが当期実績比1.8ポイント低下、収益判断D.Iは同2.7ポイント改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比3.5ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.8ポイント改善、また、残業時間D.Iは同1.7ポイント低下の見通しとなっています。当面の重点施策でも、「経費の節減」が46.5%、「販路を広げる」が43.9%、「人材を確保する」が23.2%と上位になり、前期と同様の結果となりました。

### 景況天気図

〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

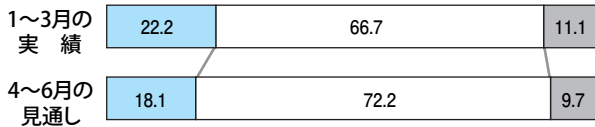
業種名	時期	29年10~12月	30年1~3月	30年4~6月見通し	概	要
総合		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、2.2ポイント低下し△2.2。来期は、1.8ポイント改善し△0.4の見通し。	
製造業		☁️	☀️	☁️	業況判断D.Iは、2.6ポイント改善し11.1。来期は、2.7ポイント低下し8.4の見通し。	
卸売業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、11.6ポイント低下し△18.1。来期は、5.6ポイント改善し△12.5の見通し。	
小売業		☁️	☔️	☁️	業況判断D.Iは、5.5ポイント低下し△30.0。来期は、9.5ポイント改善し△20.5の見通し。	
サービス業		☀️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、13.8ポイント低下し0.0。来期は、3.4ポイント低下し△3.4の見通し。	
建設業		☀️	☀️	☀️	業況判断D.Iは、5.7ポイント改善し17.1。来期は、5.7ポイント低下し11.4の見通し。	
不動産業		☁️	☁️	☀️	業況判断D.Iは、6.1ポイント改善し△5.6。来期は、16.7ポイント改善し11.1の見通し。	

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ → 低調 / ☀️ 業況改善 ☁️ 業況悪化 ☔️ 業況変化なし

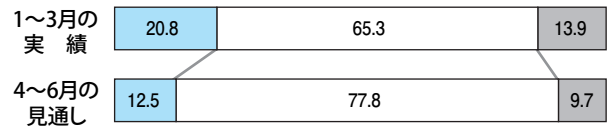
## ■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

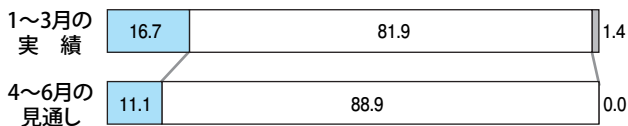
## 【業況】



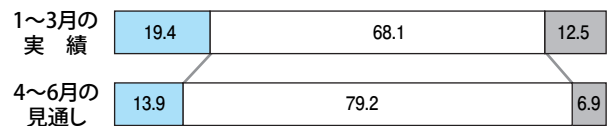
## 【売上額】



## 【原材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 1月~3月期の概況

## 業況判断D.Iは11.1、前期比2.6ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが6.9と前期比2.9ポイント低下、収益判断D.Iは6.9と同2.7ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは4.2、前期比5.7ポイント、同収益判断D.Iは2.8、同1.4ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△29.2と前期比16.5ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは15.3と前期比2.6ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が28.2%（前期29.6%）、「予定あり」が19.7%（前期11.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は16.7%（前期18.3%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」・「売上の停滞・減少」・「人手不足」がそれぞれ29.2%、「原材料高」が23.6%と上位に挙げられました。

## 4月~6月期の見通し

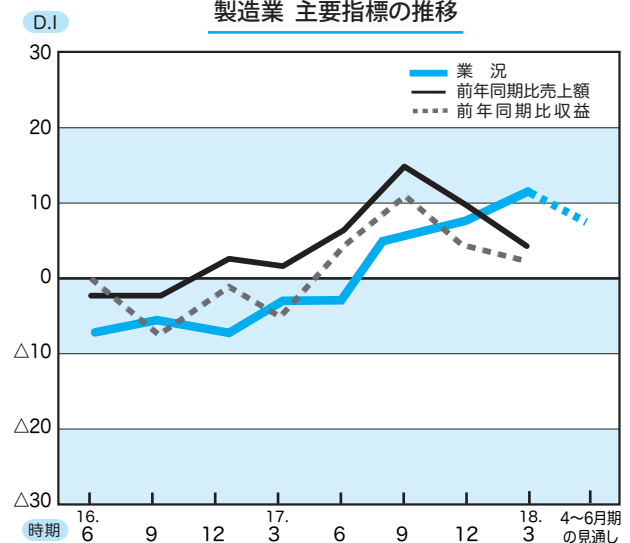
## 業況の見通し判断D.Iは8.4、当期実績比2.7ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.1ポイント低下、収益判断D.Iは同0.1ポイント改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.5ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比5.6ポイント改善、残業時間D.Iは同7.0ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.4%、「販路を広げる」が50.0%、「人材を確保する」が26.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



## 調査員のコメントから

独自性のある技術を有しており、インターネット販売も順調に推移し、今後も同様に推移する見通しである。

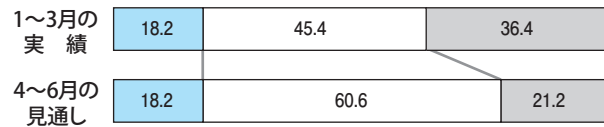
## ■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

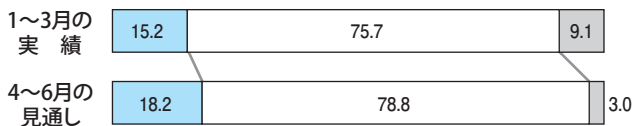
## 【業 況】



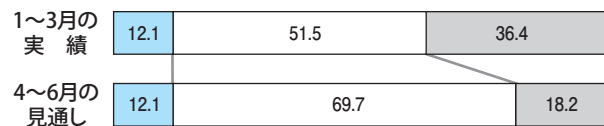
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 1月~3月期の概況

## 業況判断D.Iは△18.1、前期比11.6ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△18.2と前期比21.4ポイント、収益判断D.Iも△24.3と同30.8ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△15.2、前期比15.2ポイント、同収益判断D.Iも△27.3、同27.3ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△18.2と前期比2.1ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.0と同9.5ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が24.2% (前期38.7%)、「予定あり」が18.2% (同19.4%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.1% (前期12.9%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が45.5%、「売上の停滞・減少」が30.3%、「人手不足」が24.2%と上位に挙げられました。

## 4月~6月期の見通し

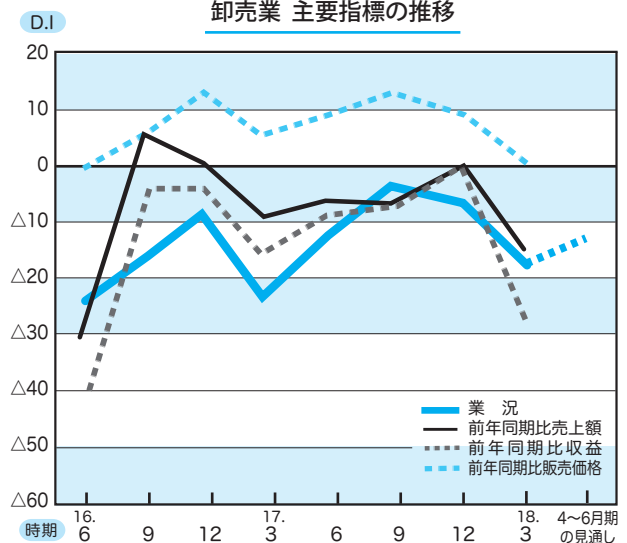
## 業績の見通し判断D.Iは△12.5と当期実績比5.6ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比15.2ポイント、収益判断D.Iは同18.2ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比15.2ポイント改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.0ポイント改善、残業時間判断D.Iは同3.1ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が97.0%、「経費の節減」が36.4%、「情報力の強化」も33.3%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



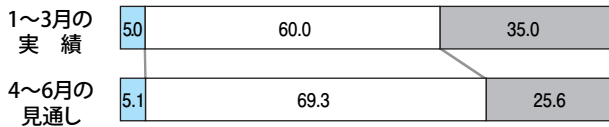
調査員のコメントから

仕入先からの値上げ交渉があったり、仕入先の廃業が増えるなど厳しい状況にある。

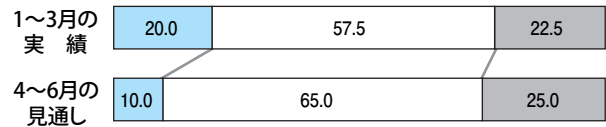
## ■ 小 売 業

回答企業数40企業(回答率97.6%)

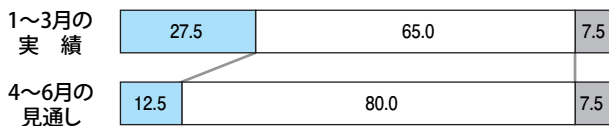
## 【業 況】



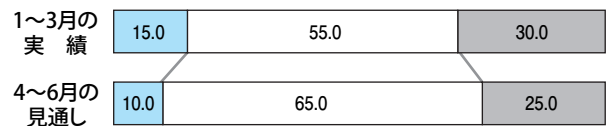
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 1月~3月期の概況

## 業況判断D.Iは△30.0、前期比5.5ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△2.5と前期比14.7ポイント、収益判断D.Iは△15.0と同10.1ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△10.0、前期比10.0ポイント、同収益判断D.Iは△17.5、同2.9ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△7.5と前期比7.5ポイント改善し、人手不足感がわずかに緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△2.5と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が30.0%（前期34.1%）、「予定あり」が17.5%（前期17.1%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は10.0%（前期12.2%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が47.5%、「同業者間の競争激化」が32.5%、「大型店との競争激化」・「利幅の縮小」がともに20.0%と上位に挙げられました。

## 4月~6月期の見通し

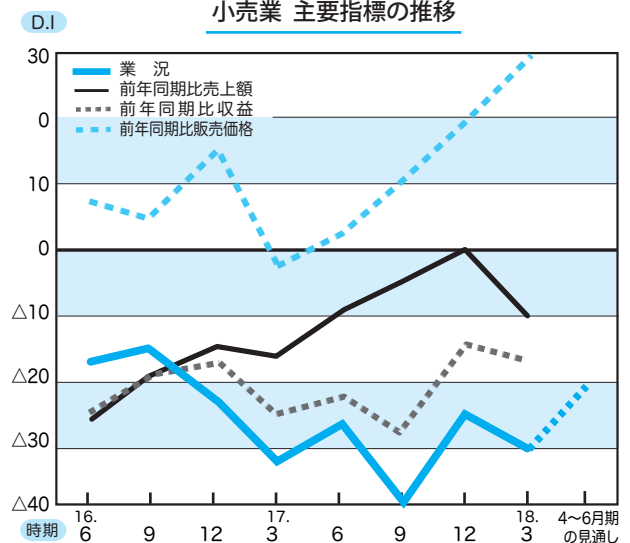
## 業況の見通し判断D.Iは△20.5、当期実績比9.5ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比12.5ポイント低下、収益判断D.Iは同横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比22.5ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比5.0ポイント低下、残業時間判断D.Iも同2.5ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が57.5%、「品揃えを改善する」が40.0%、「売れ筋商品の取扱」が30.0%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



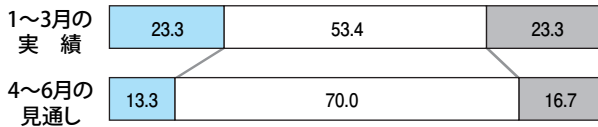
調査員のコメントから

新商品開発等を積極的に行っており、地元食材を使った商品が好評を得ている。

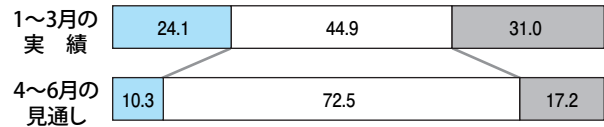
## ■ サービス業

回答企業数30企業(回答率96.8%)

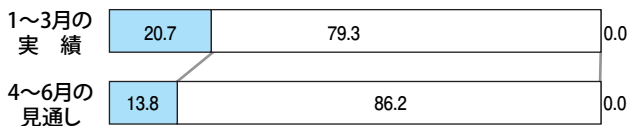
## 【業況】



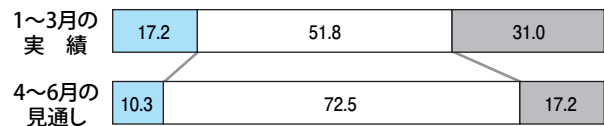
## 【売上額】



## 【材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 1月~3月期の概況

## 業況判断D.Iは0.0、前期比13.8ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△6.9、前期比20.7ポイント、収益判断D.Iは△13.8と同24.2ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは3.3、前期比3.3ポイント改善、同収益判断D.Iは△6.7、同6.7ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△3.3と前期比7.0ポイント改善し、人手不足感がわずかに緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△10.0と前期比10.0ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が10.0%（前期13.8%）、「予定あり」が6.7%（前期10.3%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は10.0%（前期17.2%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が53.3%、「売上の停滞・減少」が23.3%、「人手不足」・「人件費の増加」がそれぞれ16.7%と上位に挙げられました。

## 4月~6月期の見通し

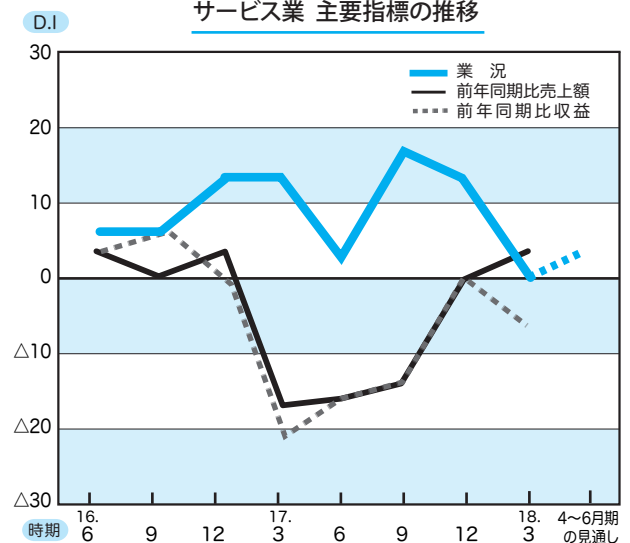
## 業況の見通し判断D.Iは△3.4、当期比3.4ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iは同6.9ポイント改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比6.9ポイントの下降を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比6.7ポイント低下、残業時間判断D.Iは同20.0ポイント改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が50.0%、「販路を広げる」が36.7%、「技術力の強化」が20.0%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



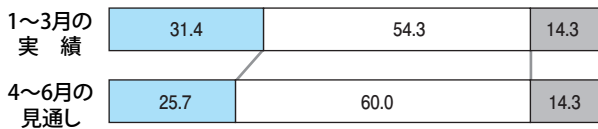
## 調査員のコメントから

事業承継が今後の事業継続において重要な課題であり、避けては通れない問題である。

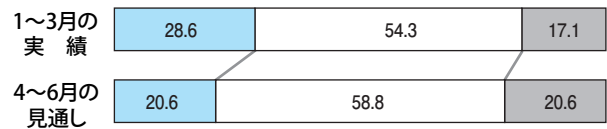
## ■ 建設業

回答企業数35企業(回答率97.2%)

## 【業況】



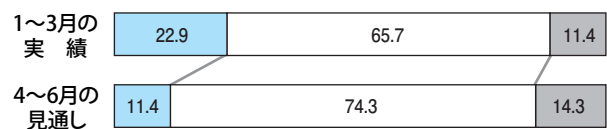
## 【売上額】



## 【材料価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 1月~3月期の概況

## 業況判断D.Iは17.1、前期比5.7ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが11.5と前期比0.1ポイント改善、受注残判断D.Iは5.7と同5.7ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは17.1、前期比17.1ポイント、同収益判断D.Iも5.7、同5.7ポイントそれぞれ改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△40.0と前期比2.9ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは5.7と前期比2.9ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が45.7%（前期40.0%）、「予定あり」が34.3%（前期25.7%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は17.1%（前期14.3%）となりました。

経営上の問題点では「同業者間の競争激化」が54.3%、「人手不足」が40.0%、「利幅の縮小」が25.7%と上位に挙げられました。

## 4月~6月期の見通し

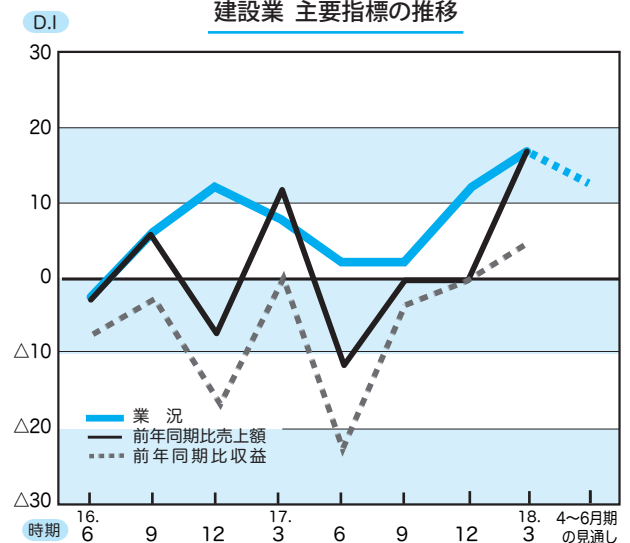
## 業況の見通し判断D.Iは11.4、当期比5.7ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.5ポイント、収益判断D.Iは同14.4ポイントともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.6ポイントの下降を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比8.6ポイント改善、残業時間判断D.Iは同8.6ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.4%、「人材を確保する」が42.9%、「販路を広げる」が40.0%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



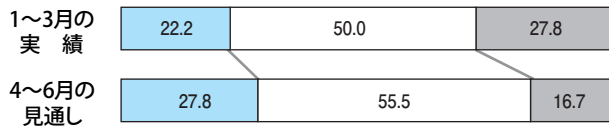
## 調査員のコメントから

資材の価格が高騰していること、また、受注に対して人員確保が難しいなど問題が山積している。

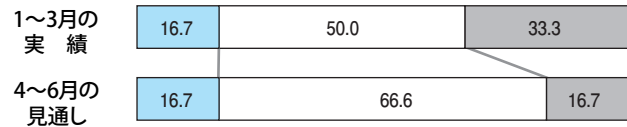
## ■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

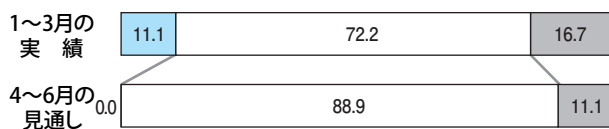
## 【業況】



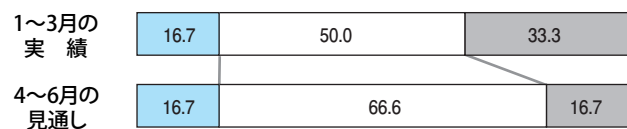
## 【売上額】



## 【仕入価格】



## 【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

## 1月~3月期の概況

## 業況判断D.Iは△5.6、前期比6.1ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△16.6と前期比16.6ポイント、収益判断D.Iは△16.6と同10.7ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは0.0、前期比横ばい、収益判断D.Iは△5.6、同0.3ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比4.6ポイント低下し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは5.6と同0.3ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%（前期23.5%）、「予定あり」は22.2%（前期17.6%）を示しています。

経営上の問題点では、「利幅の縮小」が38.9%、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」が33.3%、「人手不足」・「商品物件の不足」が22.2%と上位に挙げられました。

## 4月~6月期の見通し

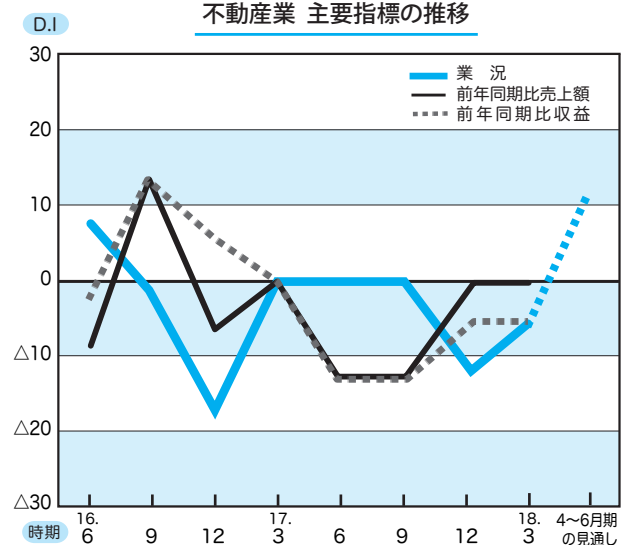
## 業況の見通し判断D.Iは11.1、当期実績比16.7ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比16.6ポイント、収益判断D.Iは同16.6ポイントともに改善を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比16.6ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間D.Iも同横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「宣伝・広告の強化」が55.6%、「販路を広げる」・「情報力の強化」がともに38.9%、「提携先を見つける」が27.8%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



## 調査員のコメントから

人材を確保するためには、労働条件の改善を図ったり、社員の教育訓練にも力を入れる必要がある。

特別  
調査

## 経営者の健康管理と事業の継続について

経営者の健康管理と事業の継続について調査を実施しました。

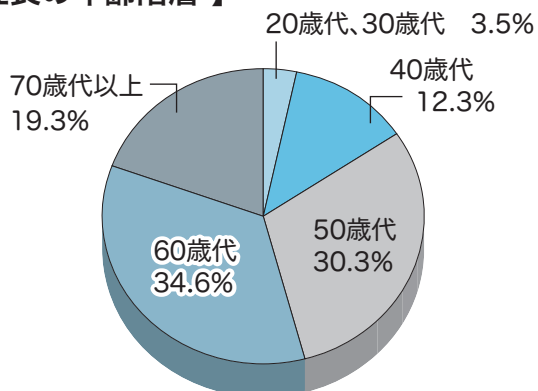
貴社の社長（代表者）の年齢層は、60歳代が34.6%、次いで50歳代が30.3%という結果となりました。また、仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気で1か月間の休養を余儀なくされた場合、どの程度の業務継続が可能であるかとの問いに「通常通りの業務継続が可能」と回答された方が51.5%と半数を超えました。そのほか、社長（代表者）の労働時間や健康診断の受診頻度、ストレス解消法などについて、結果を次のように取り纏めました。

## 問1

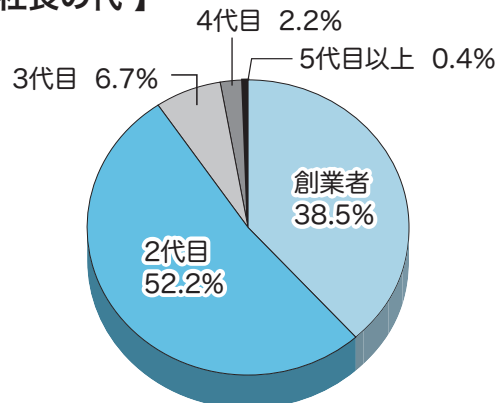
貴社の社長（代表者）の年齢層はいずれに属しますか。また、現在の社長（代表者）は何代目ですか。

（単位：％）

## 【社長の年齢階層】



## 【社長の代】

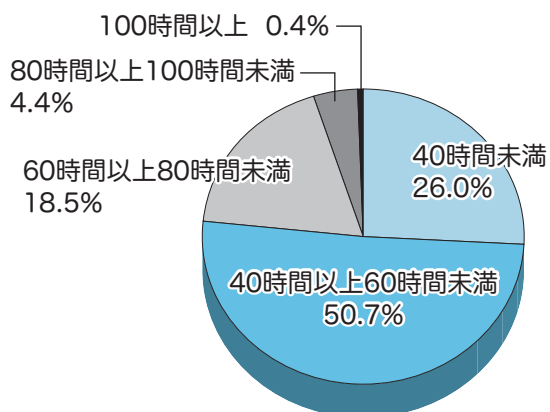


## 問2

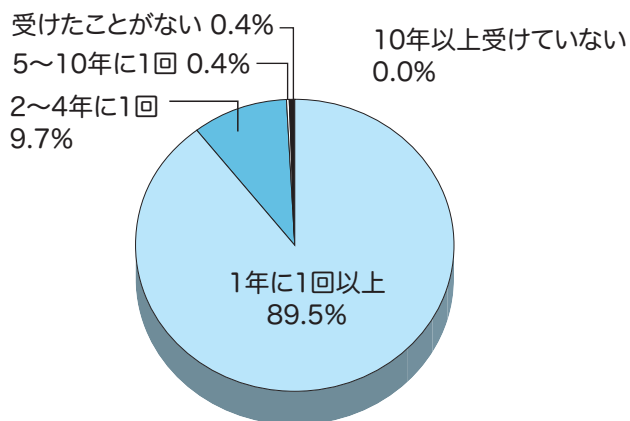
健全な経営のためには、社長（代表者）の健康が大切です。社長（代表者）の先月の労働時間（経営に費やした時間）は、1週間あたりにするとどの程度ですか。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。

（単位：％）

## 【1週間あたりの労働時間】



## 【健康診断を受ける頻度】

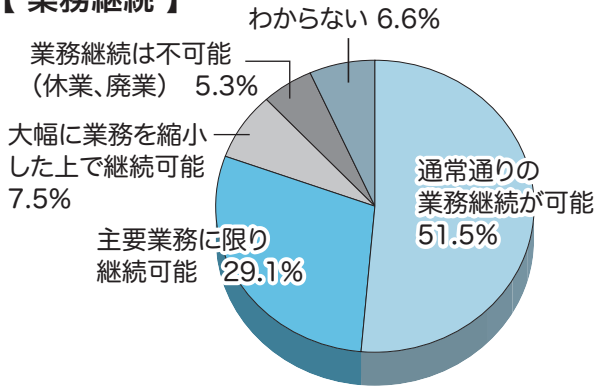




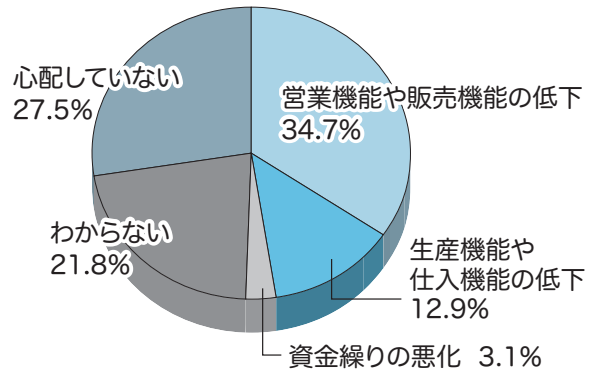
**問3**

仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社では、どの程度の業務継続が可能ですか。また、休養中に特に心配される貴社の機能の低下や悪化はどのようなものですか。  
(単位：%)

**【業務継続】**

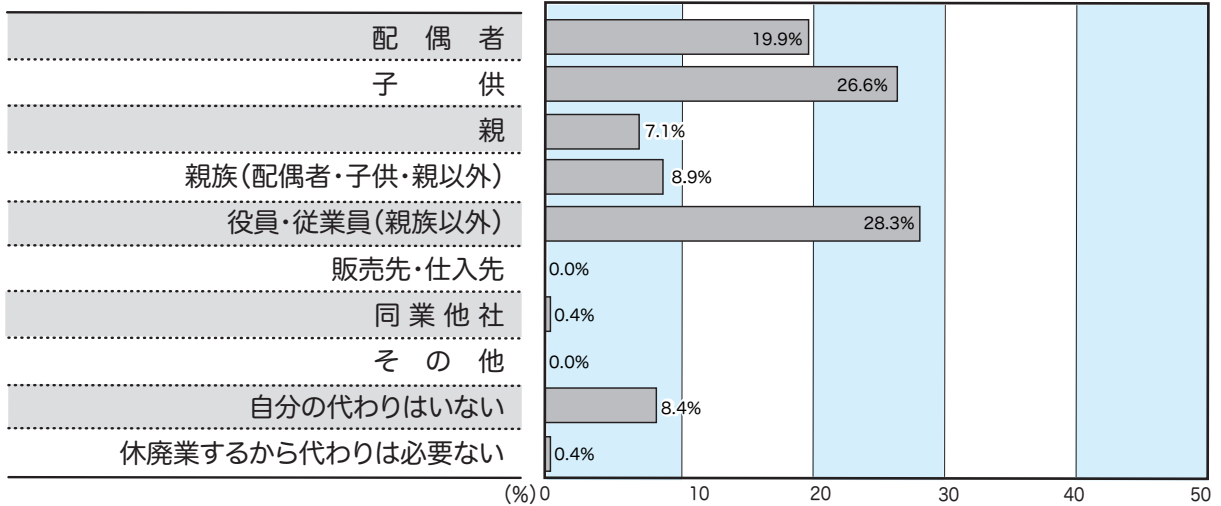


**【心配される機能の低下や悪化】**



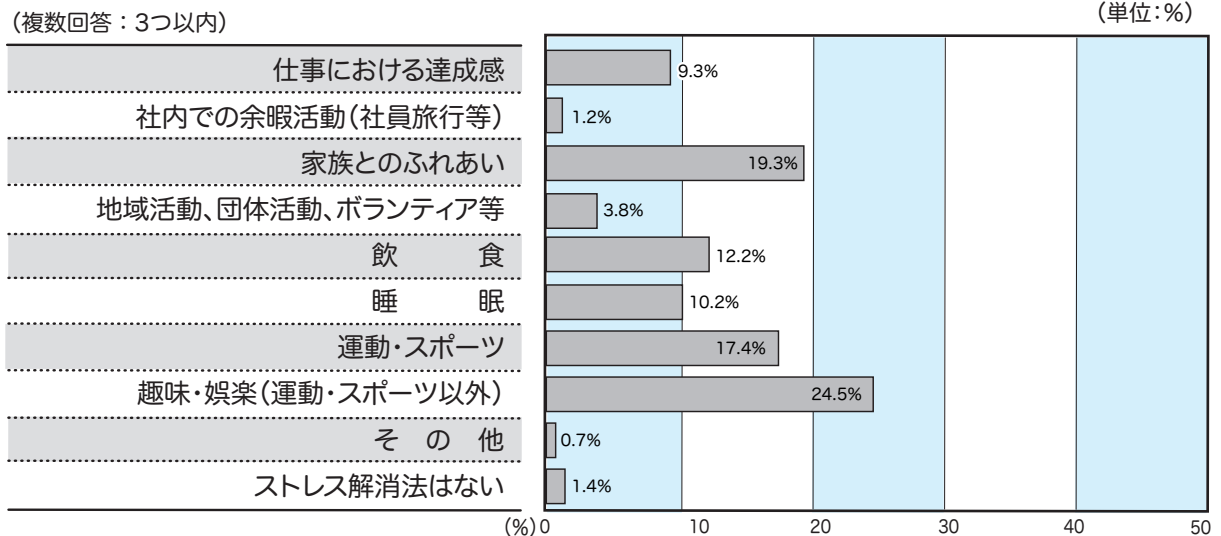
**問4**

社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社には、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいますか。  
(単位：%)



**問5**

社長（代表者）にお尋ねします。あなたのストレス解消法は何ですか。  
(複数回答：3つ以内)  
(単位：%)



## 地域活性化融資

# 「上昇機運」

短期間の資金もご利用できます。

売上増加

経営安定

収益向上

**宣言!**

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、地域の活性化をサポートします。

ご融資：  
金額：最高 5,000 万円

ご融資：  
期間：10 年以内

お取扱期間 平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。  
※取扱内容については、裏面をご覧ください。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

### — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414  
Eメール yukisb@intio.or.jp http://www.shinkin.co.jp/yuki/